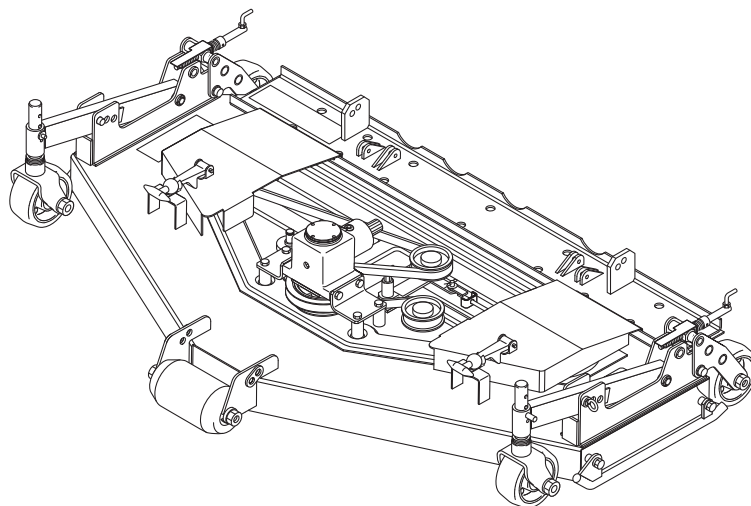


GM1700

GM1700 用マルチングデッキ

取扱説明書



Serial No. GM1700 : 21202- (GM1700 車両本体)

「必読」
ご使用前に必ず本書をお読みください。

BARONESS[®]
Quality on Demand

Ver.1.5

ごあいさつ

このたびは、バロネス製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本書は、この製品の正しい取り扱い方法と調整方法、また点検方法について説明しています。

いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。

なお、車両本体についての取り扱い方法と調整方法、また点検方法については、車両本体の取扱説明書を参照してください。

本書を読んで製品の使用方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑のかからない、適切な方法でご使用ください。

この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

この機械のメンテナンスは、専門知識のある整備士が実施してください。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽にバロネス販売代理店または弊社にお問い合わせください。

お問い合わせの際には、必ずこの製品の機種名と製造番号をお知らせください。

この製品を貸与または、譲渡する場合はこの製品と一緒に本書をお渡しください。

株式会社 共栄社

危険警告記号の説明

本書では安全に関する重要な取り扱い上の注意事項について、危険警告記号を使用し、次のように表示しています。

 696cq5-001	危険警告記号
この記号は「危険」「警告」「注意」に関する項目を意味します。 いずれも安全確保のための重要事項が記載してありますので、注意してお読みいただき、十分理解してから作業を行ってください。 これらを遵守されない場合、事故につながるおそれがあります。	
 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。  警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うおそれがあるものを示しています。  注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるもの、または物的損傷の発生が予測されるものを示しています。 重要 製品の構造などの注意点を示しています。	

はじめに

使用上の注意

注意

本書記載事項は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

部品交換を行う場合は、必ず「BARONESS 純正部品」または「弊社指定部品」を使用してください。

純正部品以外の部品を使用して生じた不具合については責任を負いかねます。

この製品を使用する前に下記の取扱説明書を必ずお読みいただき、内容を十分にご理解ください。

- ・ バロネス製品の取扱説明書

使用目的

このモアデッキは、ゴルフ場の芝草刈り作業を目的とした機械です。

この目的以外で使用したり、機械の改造をしないでください。

このモアデッキをその他の目的で使用したり、改造すると大変危険であり、機械を損傷する原因にもなります。

安全	Page 1-1
安全上の注意事項	Page 1-2
廃棄	Page 2-1
リサイクルおよび廃棄処分	Page 2-2
製品概要	Page 3-1
仕様	Page 3-2
各部の名称	Page 3-4
規制ラベル	Page 3-4
警告ラベルと指示ラベル	Page 3-5
取り扱い説明	Page 4-1
取り扱いに関する注意	Page 4-2
取り付け前の調整	Page 4-2
点検	Page 4-5
締め付けトルク	Page 4-7
使用前の調整	Page 4-10
保管	Page 4-12
メンテナンス	Page 5-1
メンテナンス上の注意	Page 5-2
メンテナンススケジュール	Page 5-3
グリースアップ	Page 5-4
メンテナンスの方法	Page 5-5

安全上の注意事項 Page 1-2

安全

誤使用や整備不良は負傷や死亡事故につながります。

危険

この製品は、安全な取り扱いができるように設計されており、工場出荷時には十分な試運転や検査を重ねた上で出荷しております。

事故防止のための安全装置は装備しておりますが、これらは適切な操作、取り扱い、および日常の管理方法が大きく影響します。

この製品を適切に使用または管理しない場合、人身事故につながるおそれがあります。

以下の安全指示に従い、安全な作業を行ってください。

安全上の注意事項

安全上の注意事項は、このモアデッキが取り付けられているパロネスの車両本体の取扱説明書を熟読してください。

リサイクルおよび廃棄処分Page 2-2

リサイクルについて Page 2-2

廃棄処分についてPage 2-2



リサイクルおよび廃棄処分

リサイクルについて

バッテリーなどは環境保護および資源の有効活用のためにリサイクルされることを推奨します。
また、地域によっては法律により義務付けられています。

廃棄処分について

整備、修理などの作業で出た廃棄物については、地域の法律に従って適切に処分してください。
(例：廃油、不凍液、ゴム製品、配線など)

仕様	Page 3-2
仕様表	Page 3-2
マルチングデッキの特性	Page 3-3
マルチングデッキの知識	Page 3-3
各部の名称	Page 3-4
規制ラベル	Page 3-4
規制ラベル貼付位置	Page 3-4
規制ラベルの説明	Page 3-4
警告ラベルと指示ラベル	Page 3-5
警告ラベルと指示ラベルについて	Page 3-5
警告ラベル・指示ラベル貼付位置	Page 3-5
警告ラベル・指示ラベルの説明	Page 3-5

製品概要

仕様

仕様表

機種名		GM1700 用マルチングデッキ	
名称		GM1700 用マルチングデッキ	
寸法	全長	109 cm [255 cm]	42.91 in [100.39 in]
	全幅	163 cm [163 cm]	64.17 in [64.17 in]
	全高	37 cm	14.57 in
質量		133 kg [858 kg]	293.21 lb [1,891.53 lb]
ギヤボックスグリース容量		260 g	9.17 oz
作業幅（刈幅）		151 cm	59.45 in
作業範囲（刈高）		25 - 85 mm（5 mm 間隔、13 段階）	0.98 - 3.35 in（0.20 in 間隔、13 段階）
ナイフ枚数		3 枚	
ナイフ全長		520 mm	20.47 in
能率		6,040 m ² /h（5.0 km/h x 刈幅 x 0.8）	1.5 acres/hour（3.11 mph x 刈幅 x 0.8）

※ [] 内は、GM1700 車両本体（燃料タンク空/ロールバー付）に装着時。

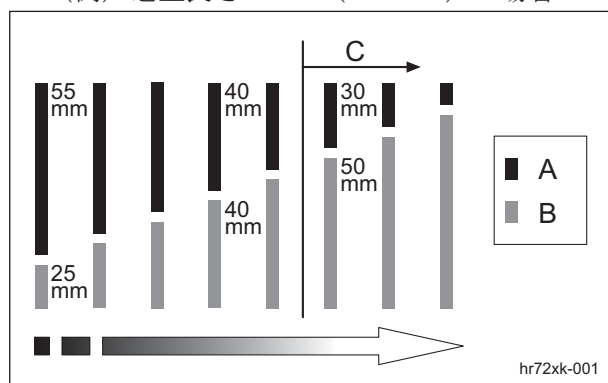
マルチングデッキの特性

1. 特殊なデッキ構造と専用のロータリーナイフ（マルチングブレード）により、刈り芝を細かく裁断し、目立たなくします。
2. 排出口がないため、飛散物がなく、排出風による埃がほとんどたちません。

マルチングデッキの知識

より効果的にマルチングデッキを使用し、良好な刈り込みを行っていただくためには、以下の内容を理解していただくことが重要です。

1. マルチングデッキは、刈り芝を細かく断裁して芝生のすき間に入り込ませることで、刈り込み後の芝生表面の刈り芝を目立たなくすることができます。
これは、排出口が存在しないため、モアデッキ全体にわたり刈り芝を落とし、芝生の中に収めていくということです。
良好な刈り込みの仕上がり状態を維持するためには、刈り代（刈り芝の長さ）と刈高のコントロールが必要です。
2. マルチングデッキには、刈り芝を裁断する特性がありますが、刈り代（刈り芝の長さ）と刈高のバランスが悪いと刈り込み後の芝生表面に刈り芝が塊となって残ります。
したがって、刈り代（刈り芝の長さ）と刈高のバランスを考えて作業する必要があります。
3. 刈り代（刈り芝の長さ）と刈高のバランスにより、刈り込みの仕上がり状態が変化します。
刈り芝が芝生の中に収められるため、バランスグラフの右側にいくにつれ、良好な仕上がりが望めます。
メーカー推奨は、刈り代（刈り芝の長さ）30 mm (1.18 in) 以下、刈高 50 mm (1.97 in) 以上です。
・ 刈り代（刈り芝の長さ）と刈高のバランス
（例）芝生長さ 80 mm (3.15 in) の場合：



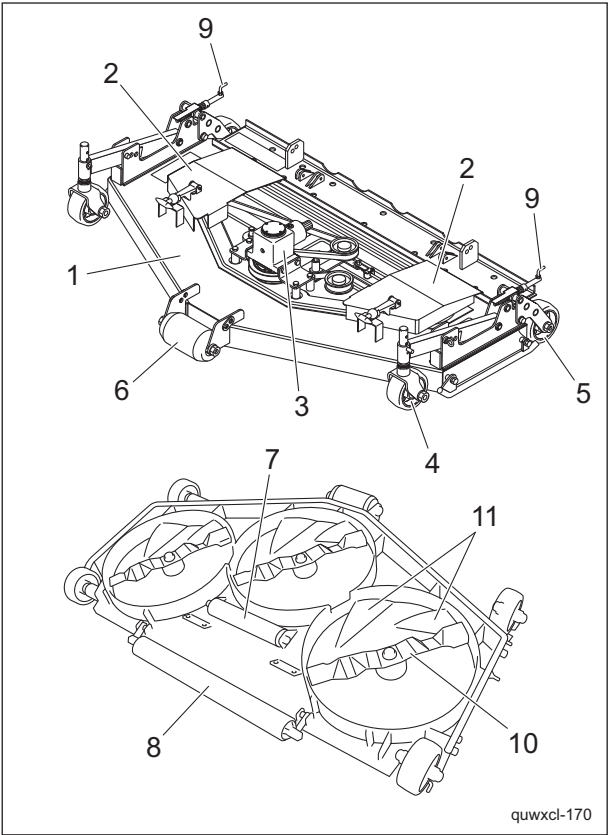
マルチングデッキの知識_001

A	刈り代（刈り芝の長さ）
B	刈高
C	メーカー推奨

4. より低い刈高で刈り込みする場合は、刈り代（刈り芝の長さ）と刈高のバランスを維持し、二度刈りすることをお勧めします。
それでも刈り込み後の芝生表面に刈り芝が残ってしまう場合は、モアデッキを少し上げて再度刈り込みを行うと、残った刈り芝を綺麗に散らすことができます。
5. 芝生の水分は、刈り込みの仕上がりに影響します。
芝生の水分が多いとモアデッキ内側に刈り芝が付着してボタ落ちなどの原因となります。
刈り芝のモアデッキ内側への付着は、刈り込みの仕上がりとは機械動力に負の影響を及ぼします。

製品概要

各部の名称

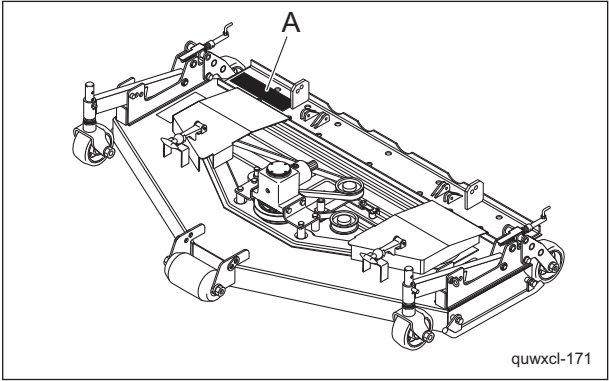


各部の名称_001

1	モアデッキ
2	ベルトカバー
3	ギヤボックス
4	キャスター車輪
5	刈高車輪
6	前ローラー
7	後ローラー
8	鎮圧ローラー
9	刈高調節ハンドル
10	ロータリーナイフ
11	誘導板

規制ラベル

規制ラベル貼付位置



規制ラベル貼付位置_001

A	機番プレート
---	--------

規制ラベルの説明

機番プレート

機番プレートは、製造番号が記載されています。



機番プレート_001

警告ラベルと指示ラベル

警告ラベルと指示ラベルについて

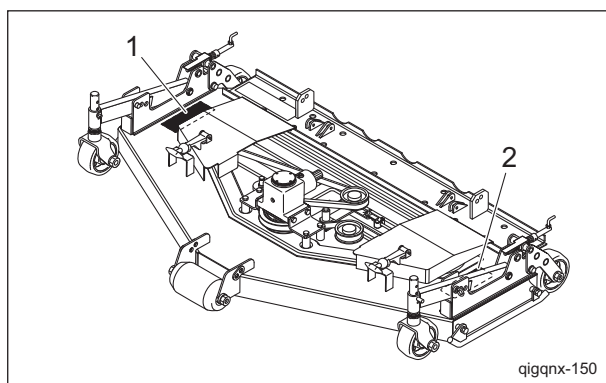
重要

このモアデッキには、警告ラベルと指示ラベルが貼り付けられています。
ラベルはきれいに保ち、損傷や汚れ、はがれがあった場合は、新しいものと交換してください。

交換するラベルの部品番号は、パーツカタログに記載されております。

購入販売店または弊社に注文してください。

警告ラベル・指示ラベル貼付位置



警告ラベル・指示ラベル貼付位置_001

1	ロータリーナイフ注意事項
2	ロータリーモア危険マーク

警告ラベル・指示ラベルの説明

ロータリーモア危険マーク

K4205000350

ロータリーモア危険マーク



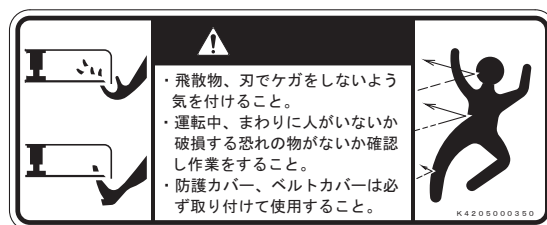
警告

飛散物 - 人を機械から遠ざけてください。



警告

手足を切る - 刃が回転しているときは機械から離れてください。



v6w34n-006

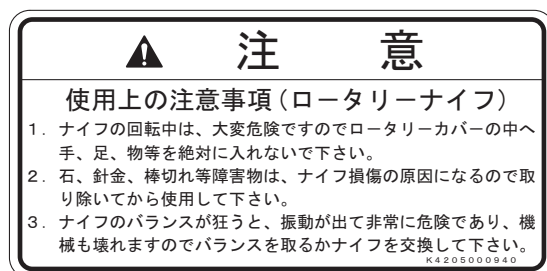
ロータリーモア危険マーク_001

ロータリーナイフ注意事項

K4205000940

ロータリーナイフ注意事項

使用上の注意事項（ロータリーナイフ）について記載されています。



j1hrhs-002

ロータリーナイフ注意事項_001

取り扱いに関する注意	Page 4-2
取り付け前の調整	Page 4-2
マルチングデッキの取り付け方法	Page 4-2
ユニバーサルジョイントの取り付け方 法	Page 4-5
点検	Page 4-5
ロータリーナイフ	Page 4-5
カバー	Page 4-6
ベルト	Page 4-6
ローラー	Page 4-6
キャスター車輪	Page 4-6
締め付けトルク	Page 4-7
標準締め付けトルク	Page 4-7
重要締め付けトルク	Page 4-9
使用前の調整	Page 4-10
刈高の調整	Page 4-10
保管	Page 4-12
長期保管	Page 4-12

取り扱い説明

取り扱いに関する注意

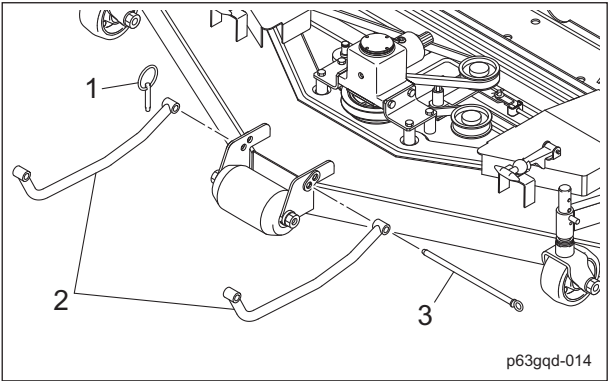
重要

本書は、モアデッキに関する取り扱いについて記載されています。
取り扱いについては、本書および、車両本体の取扱説明書をご参照ください。

取り付け前の調整

マルチングデッキの取り付け方法

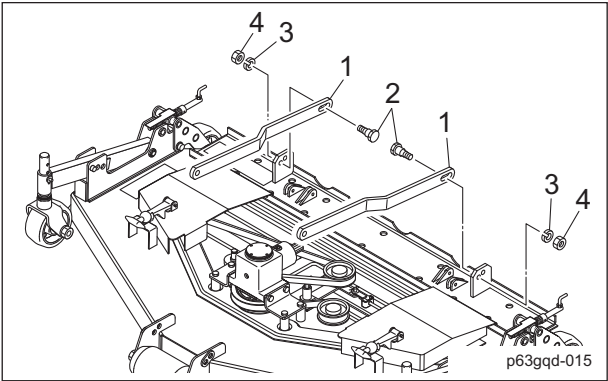
- 1. 車両本体とモアデッキを水平な所に置きます。
- 2. 車両本体に不要なアタッチメントが取り付けである場合は、取り外します。
参考：
ユニバーサルジョイントが落下しないように紐などで車両本体に縛ってください。
- 3. フロントロッドをピンとクリップピンでモアデッキに取り付けます。



マルチングデッキの取り付け方法_001

1	クリップピン
2	フロントロッド
3	ピン

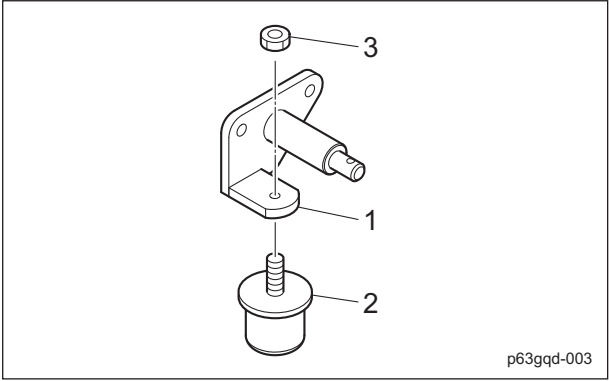
- 4. リンクをボルト、ナットでモアデッキに取り付けます。
左右同様に取り付けてください。



マルチングデッキの取り付け方法_002

1	リンク
2	ボルト
3	S ワッシャー
4	ナット

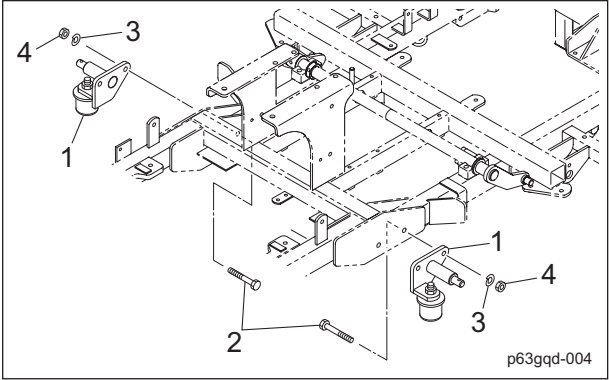
- 5. ゴムストッパーをリンク支点軸に取り付けます。
左右同様に取り付けてください。



マルチングデッキの取り付け方法_003

1	リンク支点軸
2	ゴムストッパー
3	ナット

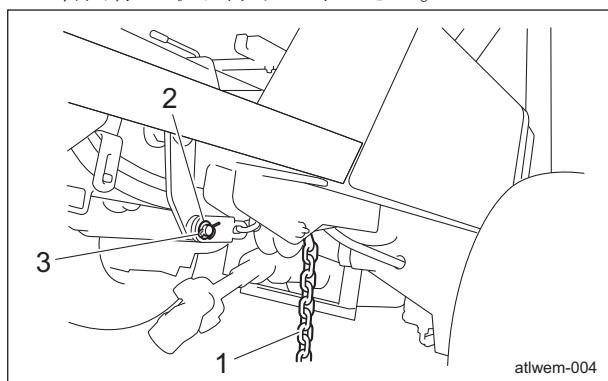
- 6. リンク支点軸をボルト、ナットで車両本体に取り付けます。
左右同様に取り付けてください。



マルチングデッキの取り付け方法_004

1	リンク支点軸
2	ボルト
3	S ワッシャー
4	ナット

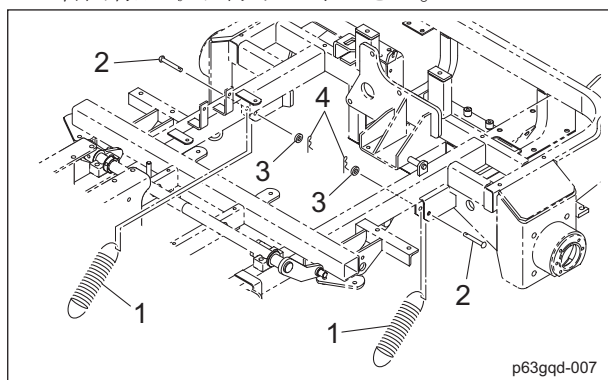
7. リフトチェーンを取り付け、割ピンで留めます。
左右同様に取付けてください。



マルチングデッキの取り付け方法_005

1	リフトチェーン
2	座金
3	割ピン

8. フックバネをピンで車両本体に取り付け、スナップピンで留めます。
左右同様に取付けてください。

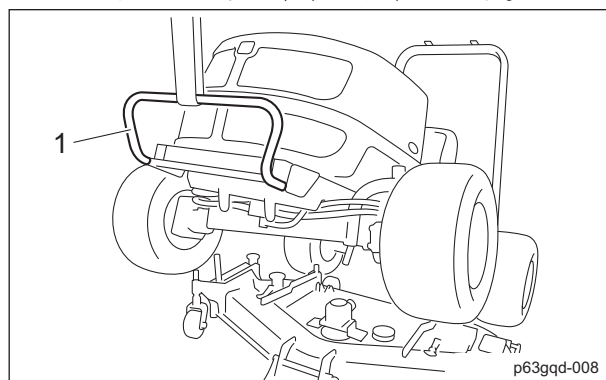


マルチングデッキの取り付け方法_006

1	フックバネ
2	ピン
3	ワッシャー
4	スナップピン

9. バンパーをホイストなどでつり上げて車両本体の前輪を浮かせます。

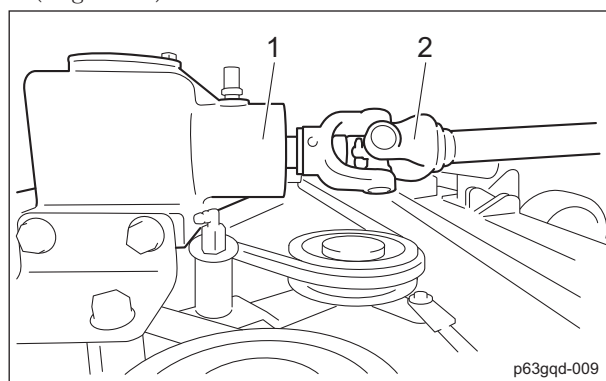
10. モアデッキを適切な位置に配置します。



マルチングデッキの取り付け方法_007

1	バンパー
---	------

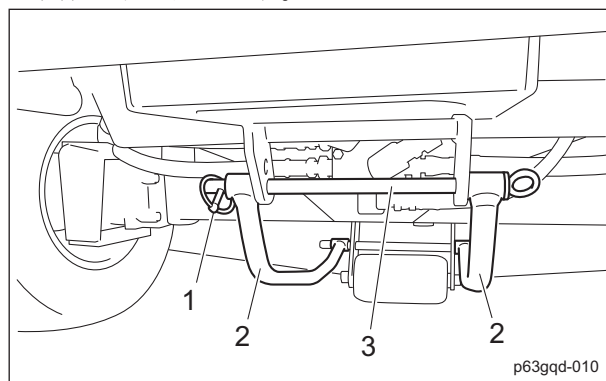
11. ユニバーサルジョイントをギヤボックスに取り付けます。
「ユニバーサルジョイントの取り付け方法」
(Page 4-5)



マルチングデッキの取り付け方法_008

1	ギヤボックス
2	ユニバーサルジョイント

12. 車両本体を下ろし、水平にします。
13. フロントロッドをピンとクリップピンで車両本体に取り付けます。



マルチングデッキの取り付け方法_009

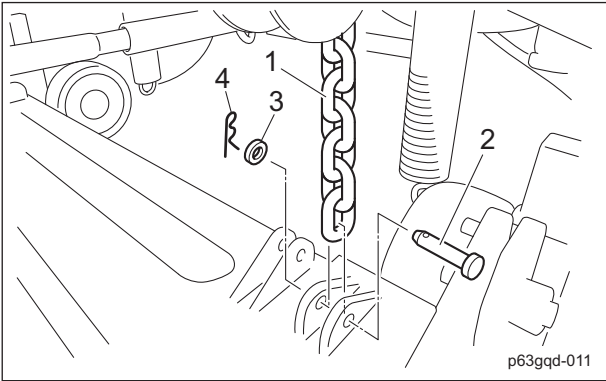
1	クリップピン
2	フロントロッド
3	ピン

取り扱い説明

重要

リフトチェーンがねじれていないことを確認してください。

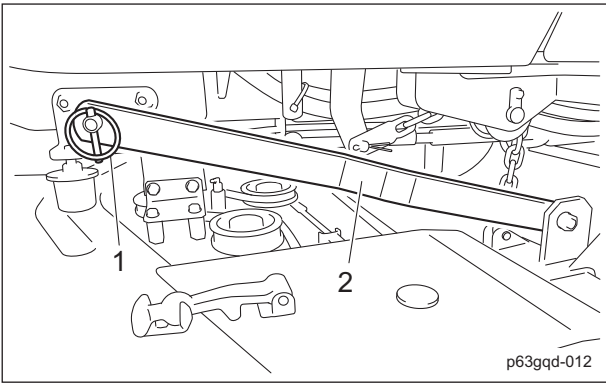
14. リフトチェーンをピンでモアデッキに取り付け、スナップピンで留めます。
左右同様にに取り付けてください。



マルチングデッキの取り付け方法_010

1	リフトチェーン
2	ピン
3	座金
4	スナップピン

15. リンクをクリップピンで、車両本体に取り付けます。
左右同様にに取り付けてください。

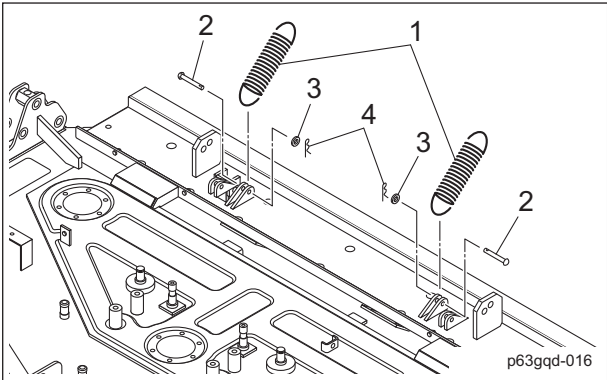


マルチングデッキの取り付け方法_011

1	クリップピン
2	リンク

16. エンジンを始動します。
17. モアユニット昇降スイッチを「上昇」側に倒し、モアデッキをフックバネが取り付け可能な位置まで上げます。
18. エンジンを停止します。

19. フックバネをピンで、モアデッキに取り付け、スナップピンで留めます。
左右同様にに取り付けてください。



マルチングデッキの取り付け方法_012

1	フックバネ
2	ピン
3	ワッシャー
4	スナップピン

20. エンジンを始動し、モアデッキを一番上まで上げます。

注意

調整を行う際は、必ずエンジンを停止させて行ってください。

21. 上昇ストッパーのあたりを調整してください。
「上昇ストッパー」(Page 5-10)

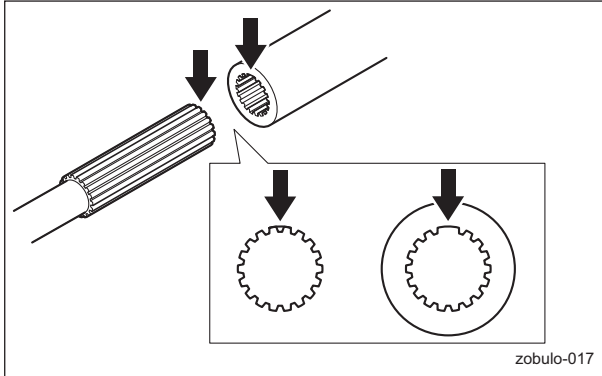
参考：
マルチングデッキの取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。

ユニバーサルジョイントの取り付け方法

重要

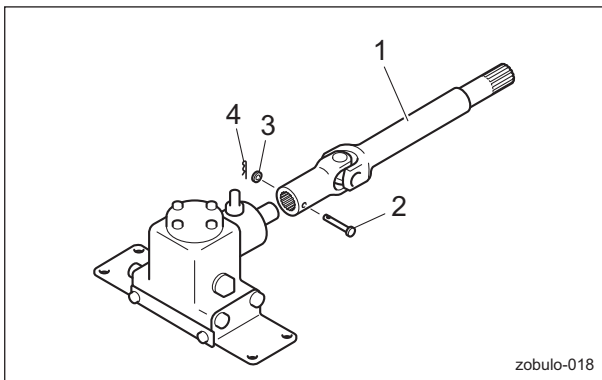
ユニバーサルジョイントの取り付け（差し込み）は、スプラインの合マーク位置を確認して取り付けてください。

1. ユニバーサルジョイントの差し込みのスプラインの合マーク位置を確認します。



ユニバーサルジョイントの取り付け方法_001

2. ユニバーサルジョイントとギヤボックスの穴位置を合わせ、ピン、ワッシャー、割ピンで取り付けてください。



ユニバーサルジョイントの取り付け方法_002

1	ユニバーサルジョイント
2	ピン
3	ワッシャー
4	割ピン

参考：

ユニバーサルジョイントの取り外しは、取り付けの逆の手順で行ってください。

点検

機械の性能を引き出し、長くご使用いただくために、メンテナンススケジュールに従って点検をしてください。

ロータリーナイフ

ロータリーナイフの点検

注意

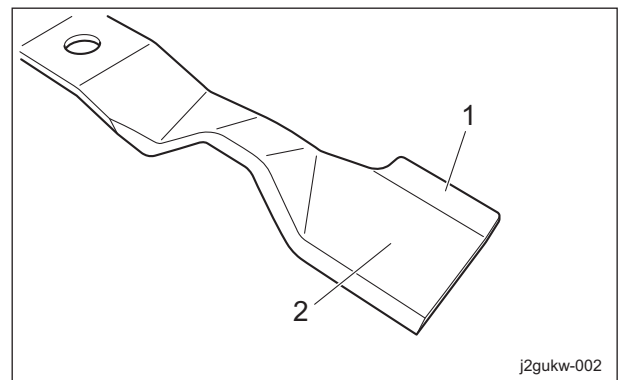
刃物に触れる場合は、手を切るおそれがありますので、手袋を着用してください。

使用頻度や作業中の異物のかみ込み、移動中の損傷などにより、バランスが崩れて振動が出たり、切れ味が悪くなることがあります。点検をし、必要に応じてロータリーナイフを研磨、およびバランス取り、または交換をしてください。

重要

乾燥した土や砂を含んだ場所での使用は、ロータリーナイフの磨耗が早いため、頻繁に点検をしてください。

1. ロータリーナイフが曲がっていないか確認してください。
2. ロータリーナイフが欠けていないか確認してください。
3. ロータリーナイフの磨耗量を確認してください。
4. ロータリーナイフが片減りしていないか確認してください。
5. ロータリーナイフの取り付けボルトが緩んでいないか確認してください。
6. ロータリーナイフのセイル部と平坦部との間に割れ目やちぎれが無いか確認してください。



ロータリーナイフの点検_001

1	セイル部
2	平坦部

取り扱い説明

カバー

カバーの点検

⚠ 警告

点検時に防護カバーを取り外した場合は、必ず元の位置に確実に取り付けてください。
防護カバーが取り外されていると、異物が飛散してケガをするおそれがあります。

1. ロータリーカバーおよび防護カバーなどに磨耗や劣化が無いか確認してください。
2. ロータリーカバーおよび防護カバーなどに破損が無いか確認してください。
3. ロータリーカバーおよび防護カバーなどに変形による可動部への干渉が無いか確認してください。
4. 防護カバーなどが所定の位置に取り付けられているか確認してください。

ベルト

ベルトの点検

⚠ 警告

ベルトの点検は、必ずエンジンを停止させた状態で行ってください。

⚠ 警告

点検時にカバーなどを取り外した場合は、必ず元の位置に確実に取り付けてください。
カバーなどが取り外されていると、回転物やベルトに触れたり、異物が飛散してケガをするおそれがあります。

1. ベルトの中央を指で押さえて、張り具合を確認してください。
2. 亀裂、損傷、異常磨耗が無いか確認してください。

ローラー

ローラーの点検

使用頻度によるベアリングの磨耗や、水分が入ることでベアリングなどが損傷することにより、ローラーが円滑に回らないことがあります。
ローラーの点検をし、必要に応じてオイルシール、ベアリングなどの部品を交換してください。

1. ローラーの減り、固着が無いか確認してください。

2. ローラー軸が磨耗していないか確認してください。
3. オイルシールの磨耗、損傷は無いか確認してください。
4. ベアリングの磨耗、さびは無いか確認してください。
5. ローラー軸にガタが無いか確認してください。

キャスター車輪

キャスター車輪の点検

使用頻度によるベアリングの磨耗や、水分が入ることでベアリングなどが損傷することにより、キャスター車輪が円滑に回らないことがあります。

キャスター車輪の点検をし、必要に応じてベアリングなどの部品を交換してください。

1. ゴム車輪の減り、固着が無いか確認してください。
2. 車輪軸が磨耗していないか確認してください。
3. 車輪アームの損傷が無いか確認してください。
4. ベアリングの磨耗、さびは無いか確認してください。
5. 車輪軸にガタが無いか確認してください。

締め付けトルク

重要

締め付けトルク一覧を参照してください。
異常な締め付け、オーバートルクでの締め付けなどで生じた不具合については、弊社では責任を負いかねます。

標準締め付けトルク

ボルト、ねじ類

重要

各部には、ボルト止めが多く使われております。
使用初期はボルト、ナットなどの緩みが出る場合がありますので、必ず増し締めを行ってください。

特別指示の無いボルト、ナットは、適切な工具により適正な締め付けトルクで締め付けてください。
締め付けが強すぎると「ねじ」は緩んだり、破損したりします。
締め付け強さは、ねじの種類、強度、ねじ面や座面の摩擦などで決めております。
一覧表は、亜鉛メッキまたはパーカー処理したボルトを対象としております。
めねじの強度が弱い場合は適用できません。
さびていたり、砂などが付着している「ねじ」は、使用しないでください。
所定の締め付けトルクを与えても締め付け不足になります。
ねじ面の摩擦が大きくなり、締め付けトルクのほとんどを摩擦損失し、締め付ける力になりません。
「ねじ」が水や油で濡れている場合は、通常の締め付けトルクで締めないでください。
ねじが濡れるとトルク係数が小さくなり、締め過ぎになります。
締め過ぎると、ねじが伸びて緩んだり、破損することがあります。
一度、大きな負荷がかかったボルトは、使用しないでください。
インパクトレンチで締めるときは、熟練が必要です。
できるだけ安定した締め付け作業ができるように練習してください。

GM1700

取り扱い説明

呼び径	一般ボルト		
	強度区分 4.8		
	 tib3yb-001		
	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	3 - 5	30.59 - 50.99	26.55 - 44.26
M6	7 - 9	71.38 - 91.77	61.96 - 79.66
M8	14 - 19	142.76 - 193.74	123.91 - 168.17
M10	29 - 38	295.71 - 387.49	256.68 - 336.34
M12	52 - 67	530.24 - 683.20	460.25 - 593.02
M14	70 - 94	713.79 - 958.52	619.57 - 831.99
M16	88 - 112	897.34 - 1142.06	778.89 - 991.31
M18	116 - 144	1,182.85 - 1,468.37	1,026.72 - 1,274.54
M20	147 - 183	1,498.96 - 1,866.05	1,301.10 - 1,619.73
M22	295	3,008.12	2,611.05
M24	370	3,772.89	3,274.87
M27	550	5,608.35	4,868.05
M30	740	7,545.78	6,549.74

呼び径	調質ボルト					
	強度区分 8.8			強度区分 10.9		
	 tib3yb-002			 tib3yb-003		
	N-m	kgf-cm	lb-in	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	5 - 7	50.99 - 71.38	44.26 - 61.96	7 - 10	71.38 - 101.97	61.96 - 88.51
M6	8 - 11	81.58 - 112.17	70.81 - 97.36	14 - 18	142.76 - 183.55	123.91 - 159.32
M8	23 - 29	234.53 - 295.71	203.57 - 256.68	28 - 38	285.52 - 387.49	247.83 - 336.34
M10	45 - 57	458.87 - 581.23	398.30 - 504.51	58 - 76	591.43 - 774.97	513.36 - 672.68
M12	67 - 85	683.20 - 866.75	593.02 - 752.34	104 - 134	1,060.49 - 1,366.40	920.50 - 1186.03
M14	106 - 134	1,080.88 - 1,366.40	938.21 - 1,186.03	140 - 188	1,427.58 - 1,917.04	1,239.14 - 1,663.99
M16	152 - 188	1,549.94 - 1,917.04	1,345.35 - 1,663.99	210 - 260	2,141.37 - 2,651.22	1,858.71 - 2,301.26
M18	200 - 240	2,039.40 - 2,447.28	1,770.20 - 2,124.24	280 - 340	2,855.16 - 3,466.98	2,478.28 - 3,009.34
M20	245 - 295	2,498.27 - 3,008.12	2,168.50 - 2,611.05	370 - 450	3,772.89 - 4,588.65	3,274.87 - 3,982.95
M22	—	—	—	530	5,404.41	4,691.03
M24	—	—	—	670	6,831.99	5,930.17
M27	—	—	—	1,000	10,197.00	8,851.00
M30	—	—	—	1,340	14,628.78	11,860.34

参考：
「細目ねじ」についても、同じ数値とする。

取り扱い説明

重要締め付けトルク

機種別締め付けトルク

GM1700_マルチングデッキ

次のボルト、ナットは下記のトルクで締め付けてください。

ねじ緩み止め剤は、ネジロック中強度（スリーボンド 1322 相当品 嫌気性強力封着剤）を塗布してください。

部位	コード番号	品名	締め付けトルク			ねじ緩み止め剤
			N-m	kgf-cm	lb-in	
リンク支点軸	K0013100802	10 調質ボルト 80	29 - 38	295.71 - 387.49	256.68 - 336.34	—
センターナイフ軸	K0017100251	10 小形調質ボルト 25P1.25	45 -57	458.87 - 581.23	398.30 - 504.51	○
ロータリーナイフ軸	K0010100251	10 調質ボルト 25	58 -76	591.43 - 774.97	513.36 - 672.68	○
ロータリーナイフ	GM1500-0849A1	ナイフ取付ボルト	130 - 150	1325.61 -1529.55	1150.63 - 1327.65	—

取り扱い説明

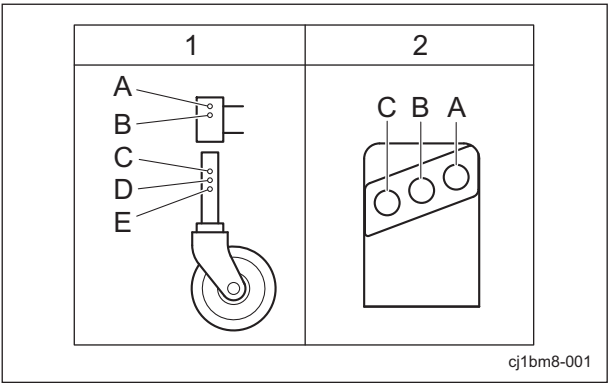
使用前の調整

刈高の調整

刈高表

刈高の調整範囲は、25 - 85 mm (1.0 - 3.3 in) [5 mm (0.2 in) 13 段階]です。

キャスター車輪	刈高 mm (in)	車輪アーム部		
		A	B	C
A - C	85 (3.3)	85 (3.3)	-	-
B - D	70 - 80 (2.8 - 3.1)	70 (2.8)	75 (3.0)	80 (3.1)
A - D	55 - 65 (2.2 - 2.6)	55 (2.2)	60 (2.4)	65 (2.6)
B - E	40 - 50 (1.6 - 2.0)	40 (1.6)	45 (1.8)	50 (2.0)
A - E	25 - 35 (1.0 - 1.4)	25 (1.0)	30 (1.2)	35 (1.4)

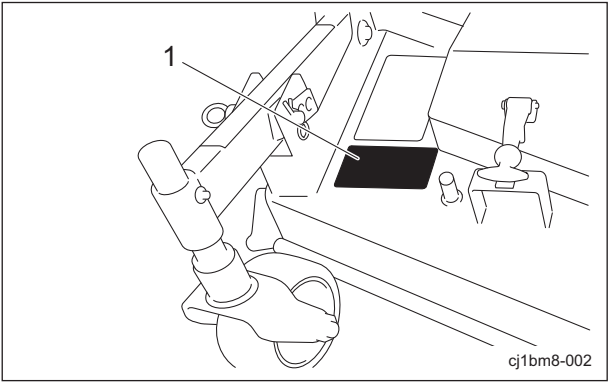


刈高表_001

1	キャスター車輪
2	車輪アーム部

モアデッキには、刈高調節ラベルが貼り付けてあります。

前輪



刈高表_002

1	前輪刈高調節シール
---	-----------

MD150--0114Z0

前輪刈高調節シール

刈高の調節

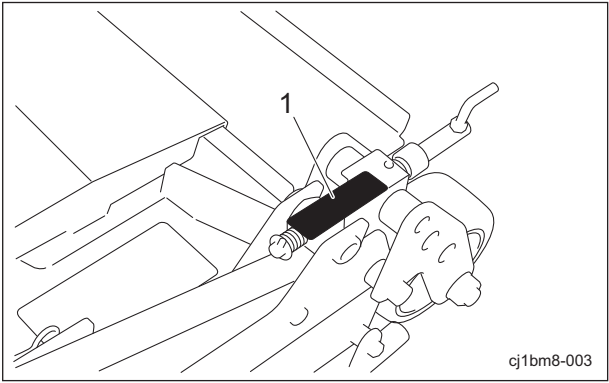
- ロータリーデッキ前側、左右のキャスター車輪とアーム部のピンを差し換えて調節します。
- 後輪は、ハンドルを回し目盛にて調節します。
- 調節範囲は25~85mmです。

キャスター車輪	刈高 (mm)	車輪アーム部		
		A	B	C
A - C	85	85	-	-
B - D	70~80	70	75	80
A - D	55~65	55	60	65
B - E	40~50	40	45	50
A - E	25~35	25	30	35

cj1bm8-004

刈高表_003

後輪



刈高表_004

1	後輪刈高調節シール
---	-----------

MD150--0113Z0

後輪刈高調節シール

刈高目盛 25 ~ 85 mm
(ハンドル1周半で5 mm)

cj1bm8-005

刈高表_005

取り扱い説明

マルチングデッキの刈高調整

モアデッキの刈高調整は、モアデッキの前部左右に取り付いているキャスター車輪と前輪取り付けアーム部、後部に取り付いている刈高車輪で行います。

キャスター車輪、刈高車輪は各 2 つあります。

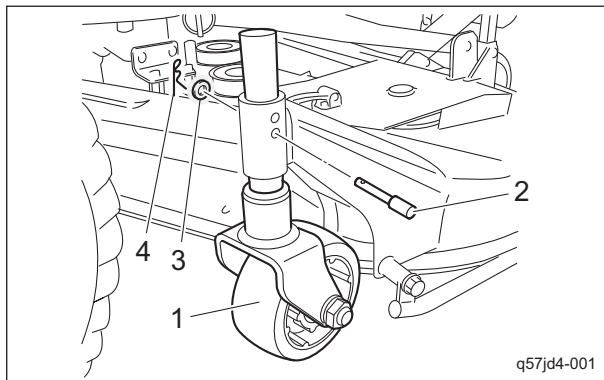
重要

一度に刈る芝の長さは 30 mm (1.2 in) 以内にしてください。

重要

芝丈の 1/3 以上は刈り取らないようにしてください。

1. 駐車ブレーキをかけ、モアデッキをキャスター車輪、刈高車輪が接地しない程度に上げてください。
2. エンジンを停止し、キーを抜き取ってください。
3. 以下の要領でキャスター車輪を調整します。
〔1〕キャスター車輪のスナップピン、ワッシャーを取り外し、ピンを抜き取ってください。



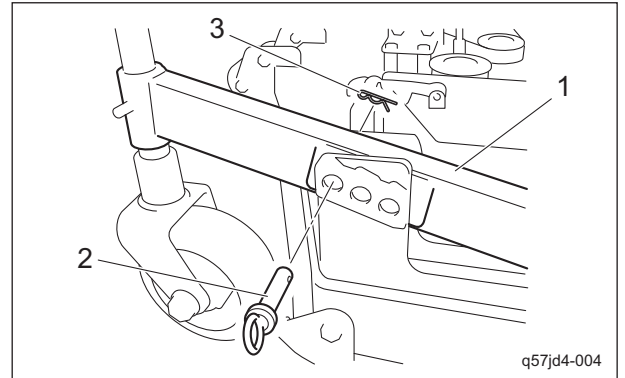
マルチングデッキの刈高調整_001

1	キャスター車輪
2	ピン
3	ワッシャー
4	スナップピン

- 〔2〕刈高表を参照して、穴位置を変更してください。
- 〔3〕ピンを差し込み、ワッシャー、スナップピンでキャスター車輪を確実に取り付けてください。

4. 以下の要領で前輪取り付けアーム部を調整します。

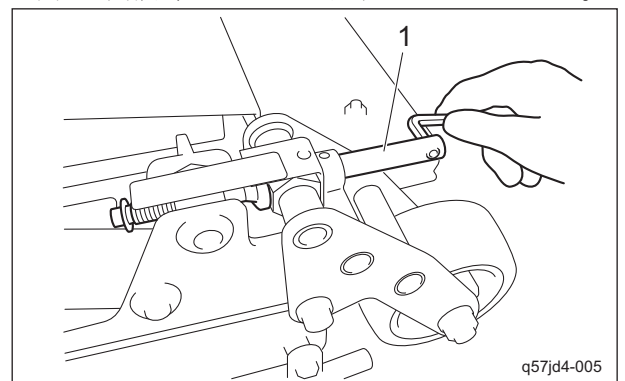
- 〔1〕前輪取り付けアームのスナップピンを取り外し、ピンを抜き取ってください。



マルチングデッキの刈高調整_002

1	前輪取り付けアーム
2	ピン
3	スナップピン

- 〔2〕刈高表を参照して、穴位置を変更してください。
- 〔3〕ピンを差し込み、スナップピンで前輪取り付けアームを確実に取り付けてください。
5. 以下の要領で刈高車輪を調整します。
〔1〕刈高調節ハンドルを回転させてください。

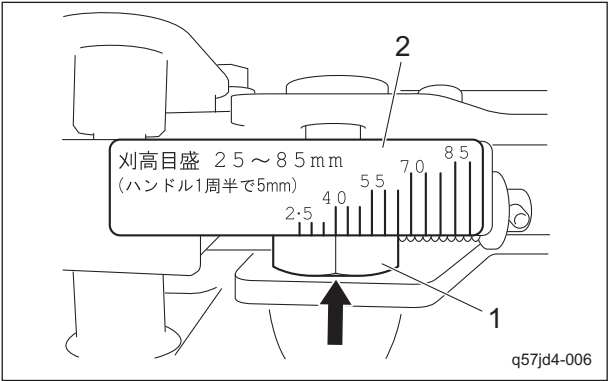


マルチングデッキの刈高調整_003

1	刈高調節ハンドル
---	----------

取り扱い説明

[2] 刈高目盛を参照して、六角部材の頂点を合せて位置を変更してください。



マルチングデッキの刈高調整_004

1	六角部材
2	刈高目盛

保管

長期保管

この機械を長期保管するときは、下記の指示に従ってください。

1. 清掃
 - ・ 泥や草屑、油汚れなどをきれいに落としてください。
2. 注油
 - ・ 各注油箇所にグリース注入、塗布と注油をしてください。
3. 格納場所
 - ・ 雨のかからない乾燥した場所で、カバーなどをかけてください。

メンテナンス上の注意	Page 5-2
メンテナンススケジュール	Page 5-3
調整値	Page 5-3
グリースアップ	Page 5-4
グリースアップについて	Page 5-4
グリースアップ位置	Page 5-4
メンテナンスの方法	Page 5-5
マルチングデッキの清掃	Page 5-5
ロータリーナイフの交換	Page 5-6
ロータリーナイフの研磨	Page 5-8
ロータリーナイフのバランス取り	Page 5-9
ベルトの張り調整	Page 5-10
ギヤボックスグリースの交換	Page 5-10
ストッパーの調整	Page 5-10

メンテナンス

メンテナンス上の注意

警告

本書に記載する「メンテナンス」の章は、専門知識のある整備士が行うべきメンテナンスの項目について説明しています。
オーナーは、専門知識のある整備士がこの機械のメンテナンスを実施するように指導してください。

注意

実施するメンテナンスを熟知してから行ってください。

重要

メンテナンスを行う際に必要な工具は、目的にあったものを使用してください。

重要

常に安全に、最高の性能でお使い頂くために、交換部品やアクセサリーは BARONESS 純正部品をお求めください。
純正部品以外の部品をご使用になった場合、製品保証を受けられなくなる場合がありますので、ご注意ください。

機械の性能を引き出し、長くご使用いただくために、メンテナンススケジュールに従ってメンテナンスをしてください。

メンテナンススケジュール

GM1700 用スタンダードデッキ
GM1700 用コンツアデッキ
GM1700 用マルチングデッキ
メンテナンススケジュールは、以下のとおりです。
○・・・点検、調整、補給、清掃
●・・・交換（初回）
△・・・交換

メンテナンス項目		作業前	作業後	8 時間ごと	10 時間ごと	50 時間ごと	100 時間ごと	200 時間ごと	250 時間ごと	300 時間ごと	400 時間ごと	500 時間ごと	1 年ごと	2 年ごと	3 年ごと	4 年ごと	備考
モア デッキ	各部の締め付け	○															
	ナイフ	○															
	刈り込み高さ	○															
	グリースアップ・注油					○											
	刈高車輪	○															
	V ベルト	○											△				
	カバー	○															
	グリース（ギヤボックス）												△				
	外観清掃		○														

・ 消耗品については、保証値ではありません。

調整値

モアデッキベルト	スプリングの長さ 35.0 mm（1.38 in）	スプリングの全長を 5.0 mm（0.2 in）圧縮
----------	---------------------------	----------------------------

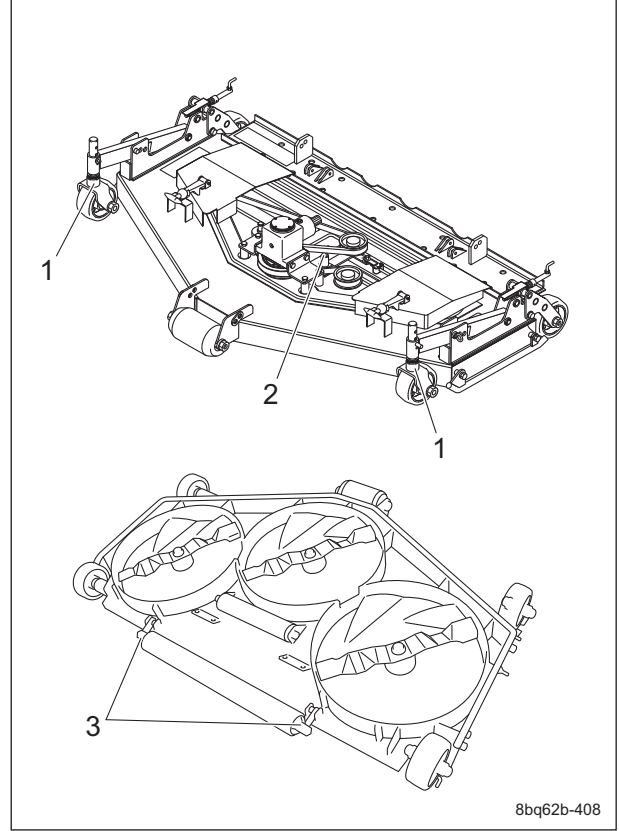
グリースアップ

グリースアップについて

可動部がグリース切れにより、固着したり、破損したりする可能性がありますので、グリースアップの必要性があります。
メンテナンススケジュールに従って、ウレア系 2 号グリースでグリースアップしてください。
その他指定のグリース、潤滑油を使用する場所は、「グリースアップ位置」に記載されています。
指定のグリース、潤滑油でグリースアップしてください。

グリースアップ位置

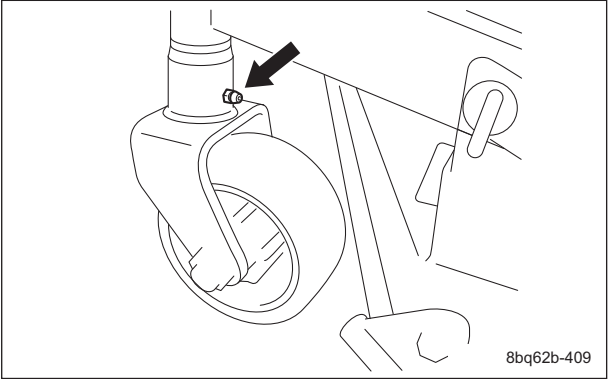
次の場所にグリースニップルが取り付けられています。
50 時間ごとにグリースアップしてください。



グリースアップ位置_001

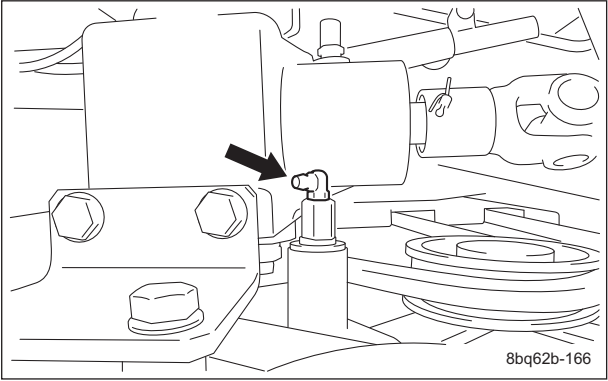
	部位	注油箇所数
1	キャスター車輪軸支点部	2
2	テンションレバー支点部	1
3	後ローラー部	2

1. キャスター車輪軸支点部
注油箇所が 2 か所あります。



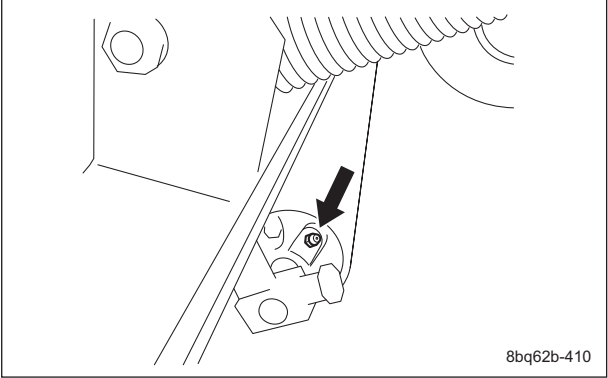
グリースアップ位置_002

2. テンションレバー支点部



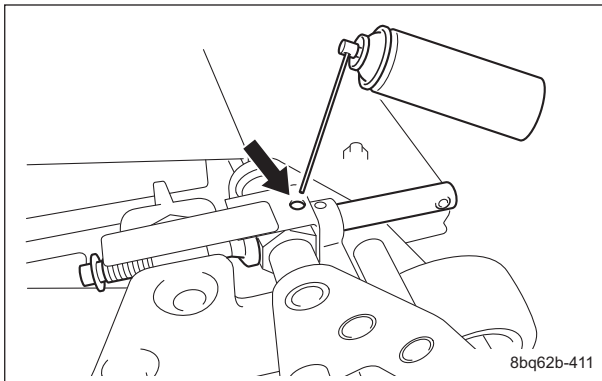
グリースアップ位置_003

3. 後ローラー部
注油箇所が左右 1 か所ずつあります。



グリースアップ位置_004

参考：
後輪刈高調節軸摺動部（左右 1 か所ずつ）には潤滑剤を塗布してください。



グリースアップ位置_005

メンテナンスの方法

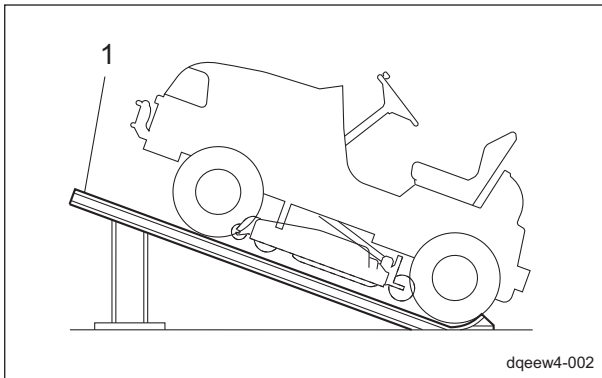
マルチングデッキの清掃

⚠ 注意

スロープなどを利用する場合は、駐車ブレーキをかけ、確実に輪止めをしてください。

参考：

スロープなどがある場合は、利用してください。



マルチングデッキの清掃_001

1 スロープ

重要

清掃は、プーリーに水がかからないように注意してください。
機械の故障の原因となります。

作業後は、モアデッキの清掃を必ず行ってください。

マルチングデッキの清掃は、以下の2つの方法があります。

- ・モアデッキの下方から清掃する。
 - ・モアデッキ上部の洗浄口を使用して清掃する。
1. モアデッキの下方から清掃する場合は、以下の手順で行います。
- [1] エンジンを停止し、キーを抜き取ってください。

[2] モアデッキの裏表を水または圧縮空気ですばりに清掃してください。

[3] プーリーやロータリーナイフに巻き付いた芝草は取り除いてください。

2. モアデッキ上部の洗浄口を使用して清掃する場合は、以下の手順で行います。

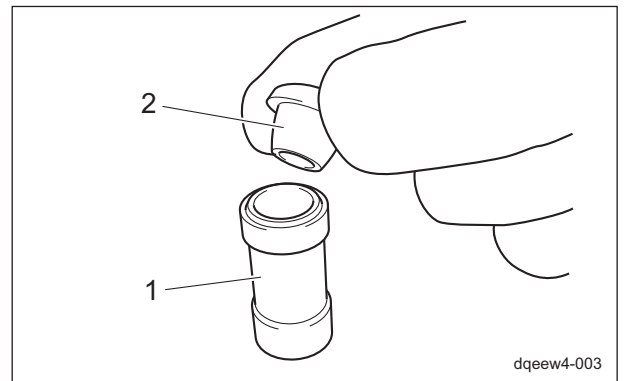
[1] モアデッキを下ろしてください。

[2] エンジンを停止し、キーを抜き取ってください。

[3] 清掃するエリアの洗浄口に取り付けられているゴム栓を取り外してください。

参考：

洗浄口はモアデッキ上部の5か所に取り付けられており、モアデッキ左右に各1か所、中央に3か所あります。



マルチングデッキの清掃_002

1	洗浄口
2	ゴムキャップ

[4] 洗浄口に散水ホースを取り付けてください。

参考：

洗浄口の外径は 17 mm (0.67 in) です。

[5] ホースに水を流してください。

⚠ 警告

ロータリーナイフの回転・停止は、運転席に着座して行ってください。

車両本体の横から手を伸ばして操作すると、足先がモアデッキ内に入り込み、ケガをするおそれがあります。

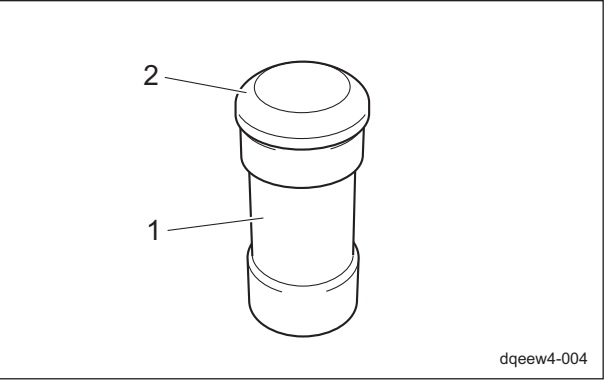
[6] エンジンを始動し、ロータリーナイフを回転させてモアデッキ内部を洗浄してください。

[7] ロータリーナイフの回転を停止し、エンジンを停止してください。

[8] モアデッキの裏表を水または圧縮空気ですばりに清掃してください。

メンテナンス

[9] 洗浄口にゴム栓を取り付けてください。



マルチングデッキの清掃_003

1	洗浄口
2	ゴムキャップ

ロータリーナイフの交換

注意

ロータリーナイフは刃物です。
手足を切るおそれがありますので、取り扱いには十分気をつけてください。

注意

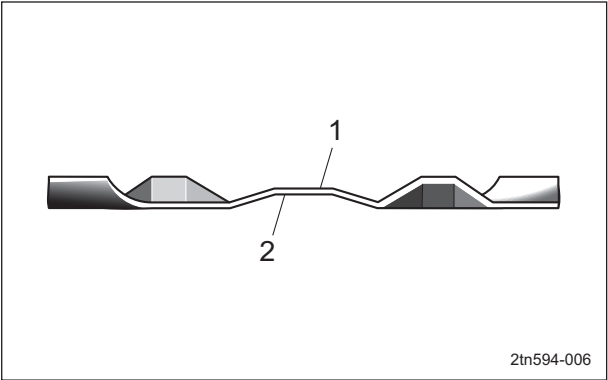
ロータリーナイフは、磨耗が進んだり、破損したりした場合は、セイル部と平坦部との間に割れ目やちぎれが発生します。
ロータリーナイフが回転中にちぎれて飛び出す場合がありますので、十分に気をつけてください。

注意

刃物に触れる場合は、手を切るおそれがありますので、手袋を着用してください。

重要

ロータリーナイフには向きがあります。
取り付けの場合は、向きを間違えないように注意してください。



ロータリーナイフの交換_001

1	ロータリーナイフ上側
2	ロータリーナイフ下側

重要

ロータリーナイフは、取り付ける前にバランスがとれていることを確認してください。

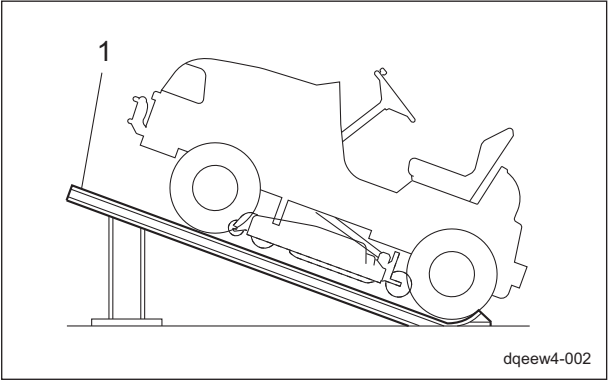
ロータリーナイフは、刃先が欠けたり、薄くなった場合は、新しいロータリーナイフに交換してください。

マルチングデッキ

注意

スロープなどを利用する場合は、駐車ブレーキをかけ、確実に輪止めをしてください。

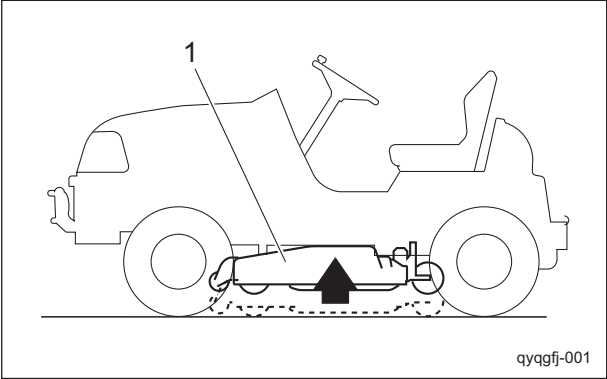
参考：
スロープなどがある場合は、利用してください。



マルチングデッキ_001

1	スロープ
---	------

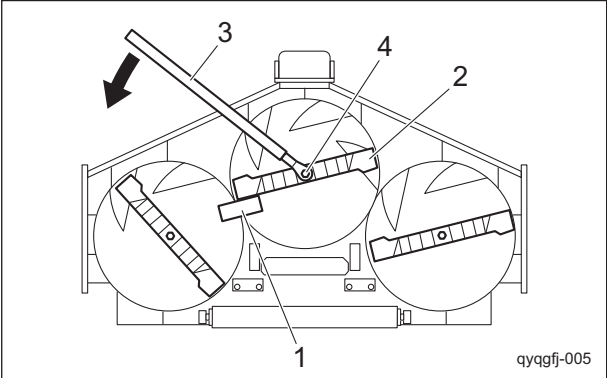
1. エンジンを始動し、モアデッキを上げてください。



マルチングデッキ_002

1	モアデッキ
---	-------

2. エンジンを停止し、キーを抜き取ってください。
3. 以下の要領で、ロータリーナイフを取り外してください。
- [1] 角パイプを使用し、ロータリーナイフが回転しないように固定してください。
- [2] 付属工具にあるメガネレンチにメガネレンチ用パイプを差し込みます。

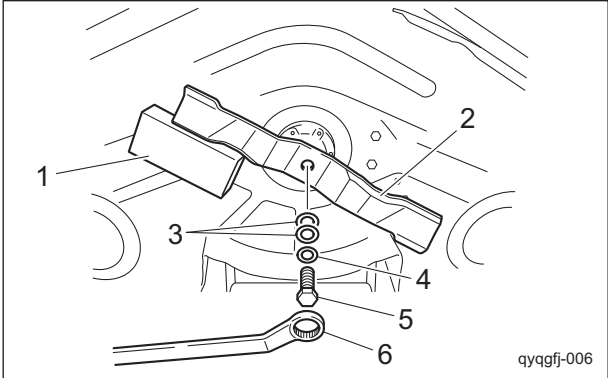


マルチングデッキ_003

1	角パイプ
2	ロータリーナイフ
3	メガネレンチ用パイプ
4	ナイフ取り付けボルト

[3] ロータリーナイフを取り付けているボルト、座金、さらばねを取り外してください。

[4] ロータリーナイフを取り外してください。

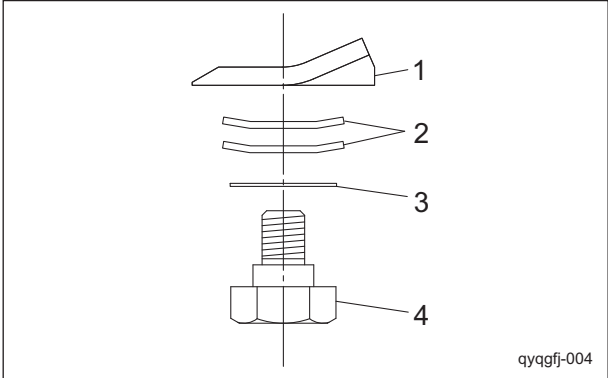


マルチングデッキ_004

1	角パイプ
2	ロータリーナイフ
3	さらばね
4	座金
5	ナイフ取り付けボルト
6	メガネレンチ

重要

さらばねには向きがあります。
取り付ける場合は、向きを間違えないように注意してください。



マルチングデッキ_005

1	ロータリーナイフ
2	さらばね
3	座金
4	ナイフ取り付けボルト

重要

ナイフ取り付けボルトの締め付けトルクは、130 - 150 N-m (1,325.61 - 1,529.55 kgf-cm) です。

4. ロータリーナイフを取り付けてください。
取り付けは、取り外しの逆の方法で行ってください。

メンテナンス

ロータリーナイフの研磨

 **注意**

ロータリーナイフは刃物です。
手足を切るおそれがありますので、取り扱いには十分気をつけてください。

 **注意**

刃物に触れる場合は、手を切るおそれがありますので、手袋を着用してください。

 **注意**

ロータリーナイフは、磨耗が進んだり、破損した場合は、セイル部と平坦部との間に割れ目やちぎれが発生します。
ロータリーナイフが回転中にちぎれて飛び出す場合がありますので、十分に気をつけてください。

 **注意**

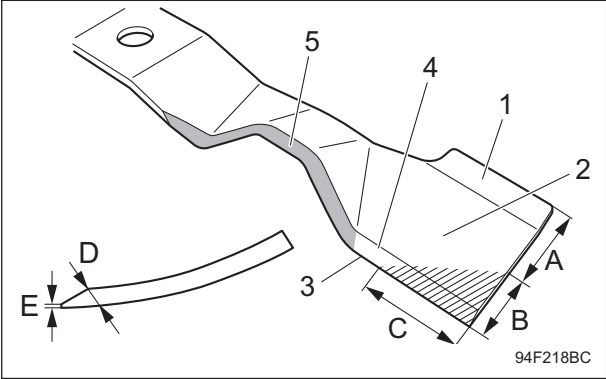
ロータリーナイフの研磨は、必ず保護メガネ、手袋を着用して行ってください。

 **重要**

ロータリーナイフはバランスが崩れたまま使用すると、振動が出て機械が破損します。

ロータリーナイフの研磨とは、ロータリーナイフの刃先が丸みを帯びて切りづらくなった場合、刃先の減ったところをグラインダーまたは、サンダーにて削り、研ぐ作業のことです。
刃先が欠けたり、薄くなった場合は、新しいロータリーナイフに交換してください。
ロータリーナイフの研磨が行える基準は、以下のとおりです。

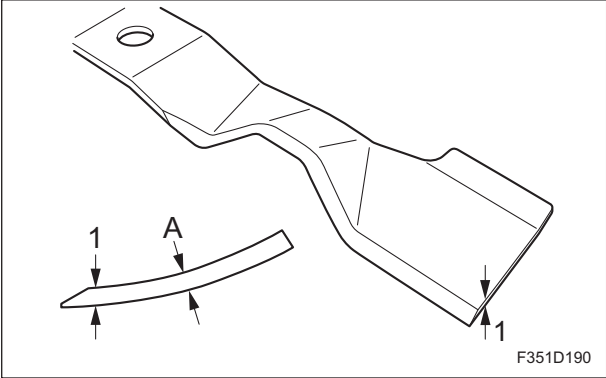
1. 研磨後、ロータリーナイフの平坦部の幅が、35.0 mm (1.38 in) 以上残る場合。



ロータリーナイフの研磨_001

1	セイル部
2	平坦部
3	刃先
4	刃元
5	細断ブレード部
A	35.0 mm (1.38 in)
B	30.0 mm (1.18 in)
C	50.0 mm (1.97 in)
D	30 - 40 °
E	0.5 - 1.0 mm (0.02 - 0.04 in)

2. ロータリーナイフの最も薄い場所の板厚が、新品の板厚の 1/3 以上残っている場合。



ロータリーナイフの研磨_002

1	板厚
A	1/3 以上

ロータリーナイフの研磨は、以下の手順で行ってください。

- 1. ロータリーナイフをモアデッキから取り外してください。
「ロータリーナイフの交換」(Page 5-6)

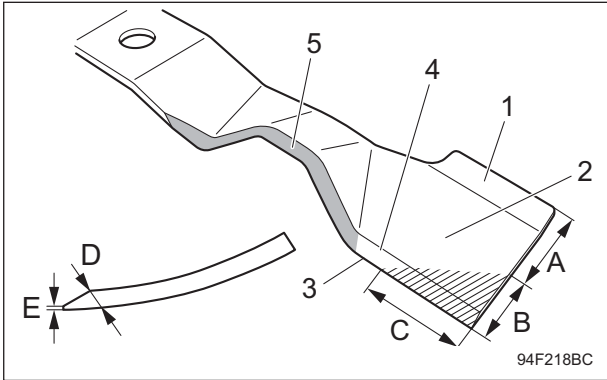
重要

研磨は、刃先の元々の角度を変えないように注意してください。
ロータリーナイフの左右を均等に削れば、バランスを狂わすことなく研磨を行うことができます。

重要

ロータリーナイフの細断ブレード部は研磨しないでください。
ロータリーナイフが折損します。

- 2. ロータリーナイフの刃先を研磨してください。
刃先の角度は 30 - 40°、刃の先端の厚みは 0.5 - 1.0 mm (0.02 - 0.04 in) とし、刃元が細断ブレード部にかからないように研磨してください。
研磨が行えるのはイラストが示す斜線部の範囲内です。



ロータリーナイフの研磨_003

1	セイル部
2	平坦部
3	刃先
4	刃元
5	細断ブレード部
A	35.0 mm (1.38 in)
B	30.0 mm (1.18 in)
C	50.0 mm (1.97 in)
D	30 - 40 °
E	0.5 - 1.0 mm (0.02 - 0.04 in)

- 3. バランス取りを行ってください。
「ロータリーナイフのバランス取り」(Page 5-9)

- 4. バランスが取れていない場合は、2. - 3. を繰り返し行ってください。

ロータリーナイフのバランス取り

注意

ロータリーナイフは刃物です。
手足を切るおそれがありますので、取り扱いには十分気をつけてください。

注意

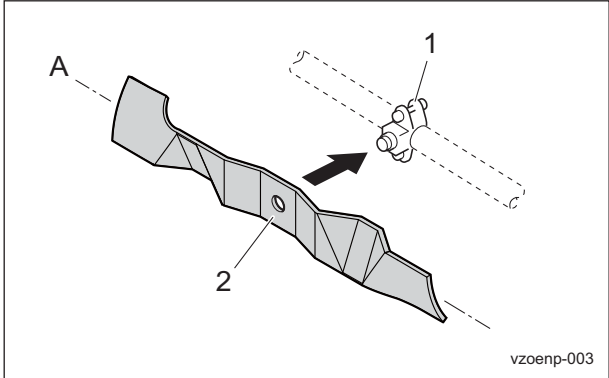
刃物に触れる場合は、手を切るおそれがありますので、手袋を着用してください。

重要

ロータリーナイフはバランスが崩れたまま使用すると、振動が出て機械が破損します。

バランス取りとは、ロータリーナイフが片減りして振動が出たり、切れ味が悪くなり研磨した場合に、ロータリーナイフをモアデッキから取り外してバランスを取る作業のことです。
ロータリーナイフのバランス取りは、以下の手順で行ってください。

- 1. ロータリーナイフをモアデッキから取り外してください。
「ロータリーナイフの交換」(Page 5-6)
- 2. バランス取り装置を適当な場所に取り付けてください。
- 3. ロータリーナイフの中央の穴をバランス取り装置にはめ込み、ロータリーナイフが水平になるように左右のバランスを取ってください。



ロータリーナイフのバランス取り_001

1	バランス取り装置
2	ロータリーナイフ
A	水平

ベルトの張り調整

警告

ベルトの調整を行う場合は、必ずエンジンを停止してください。

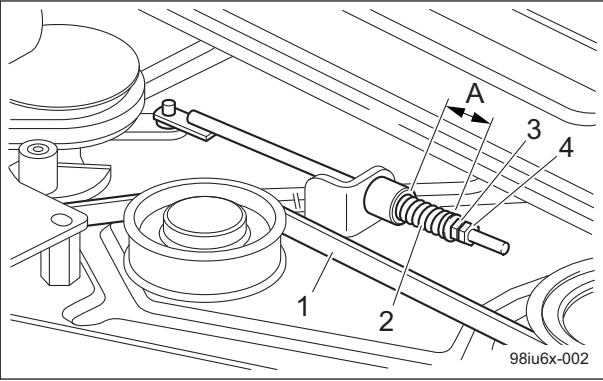
重要

ベルトの張り具合の確認は、ベルトを数回転させた後に行ってください。

使用頻度により、ベルトが緩いと踊ったり、スリップする可能性があります。
また、張り過ぎると損傷が早くなる可能性があります。
必要に応じて調整し、いつも適正な張り具合に保ってください。

モアデッキベルト

- 1. ベルトの中央部を指で押さえて、張り具合を確認してください。
- 2. ベルトの張りが適正でない場合は、ナットの締め込みにより、テンションスプリングの長さが 35.0 mm (1.38 in) になるように調節してください。(スプリングの全長を 5.0 mm (0.2 in) 圧縮)



モアデッキベルト_001

1	ベルト
2	テンションスプリング
3	ナット
4	ロックナット
A	35.0 mm (1.38 in)

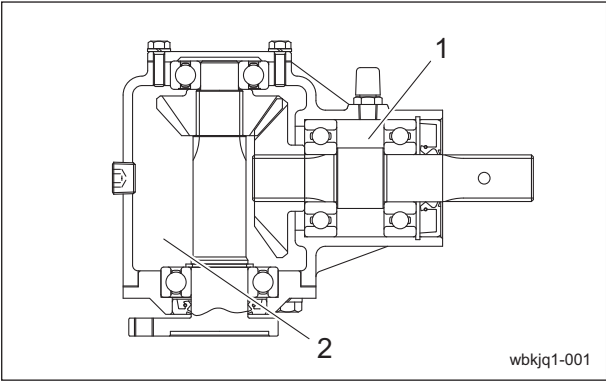
ギヤボックスグリースの交換

重要

グリースは、指定のグリースを使用してください。

ギヤボックスグリースは、メンテナンススケジュールに従って交換してください。
グリースの交換は、ギヤボックスを分解して、全量交換します。
使用するグリースは、以下のとおりです。

ギヤボックス	パイロノック CC0 号	260 g
--------	--------------	-------



ギヤボックスグリースの交換_001

1	パイロノック CC0 号	20 g
2	パイロノック CC0 号	240 g

ストッパーの調整

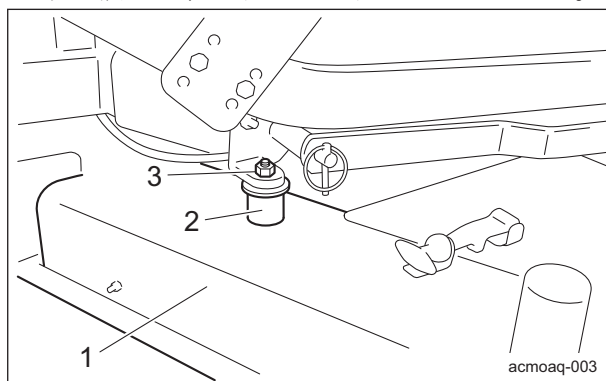
使用頻度により、ゴムストッパーが磨耗や劣化をし、正常にストッパーの役割を果たさなくなる可能性があります。
必要に応じて調整をしてください。

上昇ストッパー

上昇ストッパーは、モアデッキと車両本体の干渉を防ぐ役割があります。
2 か所取り付けてあります。

- 1. モアデッキを上げます。
- 2. モアデッキが水平に上がっていることを確認してください。

3. ゴムストッパーがモアデッキに軽く当たるように調整し、ナットでロックしてください。



上昇ストッパー_001

1	モアデッキ
2	ゴムストッパー
3	ナット



株 式 会 社 共 栄 社

〒442- 8530

愛知県豊川市美幸町1- 26

TEL (0533) 84 - 1221

FAX (0533) 84 - 1220